

“なぜ?”

“やりたいこと”がまだ見つからなくてもいい。
小さな「なぜ?」が、あなたのキャリアを動かす。

からはじまる、 自分だけのキャリア



＼ゼロ→イチに変えた先輩と、世界を広げる“問い”を見つけよう／



「自分のキャリアを考える」と聞くと、どんなイメージがありますか?
将来の仕事、働き方、進路……。けれど本当のキャリアとは、
“自分はどんな世界をつくりたいか”を考えること。
この講座では、日常の中にある「なぜ?」という小さな疑問から、
自分の興味や価値観を見つめ直し、社会や世界とのつながりを探ります。
登壇するのは、学生時代の気づきを原点に行動を起こし、
ローカルな課題をグローバルな視点で広げてきた若手起業家。
ゼロをイチに変えた先輩や仲間と語りながら、“自分の問い”を見つける3時間です。

2025

12.17 水

18:00 ~ 21:00

参加費無料

対象

大学コンソーシアム大阪会員大学の学生
(主に1~3年生、4年生、留学生も可)

定員
30名
(先着順)



アクセスマップ

会場

キャンパスポート大阪
(大阪市北区梅田1-2-2-400 大阪駅前第2ビル4階)

申込
方法

以下のURLまたは右のQRコードからお申込みください。
<https://forms.gle/u9xuLt9xhgnBZh2BA>
12月10日(水) ※定員になり次第締め切ります



申込フォーム

講師



地域の“課題”を
世界の“希望”に変える
若手起業家

石井 智大 氏
株式会社IOBI 代表取締役



大阪発のイノベーションを
世界へ発信する挑戦者

小磯 純奈 氏
株式会社inxR、Newond, Inc.
代表取締役CEO

問い合わせ先

特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪事務局 国際交流担当

TEL: 06-6344-9560 (平日9:30-17:30)

MAIL: global★conso-osaka.jp (★を@に変えてください)



内 容	概 要
オープニング	自分と世界をつなぐ3時間の始まり
▼	
若手起業家のリアルトーク	「身近な“なぜ？”から世界へ」——ゼロをイチに変えた先輩のストーリー 学生時代の小さな気づきを、社会を動かす行動に変えたリアルな経験を伺います。
▼	
個人ワーク	自分の“なぜ？”を言葉にしてみよう 日常の中にある「気づき」や「違和感」を整理してみます。
▼	
グループワーク	対話が広げる、自分の視野 他大学の学生と意見を交わしながら、新しい視点に出会います。
▼	
休憩	ほっと一息 感じたことをメモしながら次のステップへ。
▼	
発表・コメント	一人ひとりの“問い”を共有する時間 講師からのリアルなフィードバックを受け、自分の考えを深めます。
▼	
クロージング	今日見つけた“問い”を、未来の一步へ 学びを自分のキャリアへつなげます。



この講座で見つかる 4つのヒント



“まだ見ぬ自分”に出会う3時間

自分の興味や価値観を見つけられる

自分が「大切にしたいこと」「心が動くテーマ」がはっきりしてきます。

社会や世界とのつながりを感じられる

身近な出来事の中に、世界と関わるヒントがあることに気づけます。

行動のきっかけがつかめる

起業家の実体験から、“思いを行動に変える方法”を学べます。

仲間との対話で視野が広がる

他大学の学生と考えを交わし、新しい価値観やキャリア観に出会えます。

石井 智大氏（株式会社 IOBI 代表取締役）

—地方を舞台に、世界へ挑む—

近畿大学卒業後、新卒でありながら年商500億円企業のグループ会社の社長に就任。「唯一無二のリーディングカンパニー」を実現するという強い想いのもと、就任から半年後に自社株式を100%買い戻し、独立を果たす。2021年5月から本気で地方創生をしたいという強い想いの下、「メディア事業部」を新設し、2021年7月に地方創生メディア「Made In Local」をリリース。現在「地域を代表する企業100選」の選出企業数が1300社を突破。地方企業のブランディングや行政連携企画を推進している。2025年7月から三重県名張市公民連携コーディネーターに就任。

小磯 純奈氏（株式会社 inxR、Newond, Inc. 代表取締役 CEO）

—大阪から世界へ、テクノロジーで新しいつながりを—

堺生まれ、和泉育ち、進学、就職、一社目の創業まで全て大阪の生粋の大阪人。関西大学卒業後、タナベ経営に入社。退職後、フリーランスを経て2020年に地元大阪にてVR/AR技術を活用した業務改善支援を行う株式会社inxRを創業。その後、VR/AR業界特化の採用サービスなど複数事業を立ち上げ、2023年に単身渡米し、2社目となるNewond, Inc.を創業。元々はアメリカで課題となっているレイオフ時のバックオフィス業務を支援する人事サービスを開発していたが、現在は異なる新規事業に取り組んでいる。